

平成 27 年度 第 1 回西区自治協議会会議録

日時：平成27年 4 月22日（水）午後3：00～4:10

会場：西区役所健康センター棟 1 階大会議室

< 1 開会 >

< 2 副市長あいさつ >

< 3 委員・西区職員紹介 >

< 4 議事（1）会長及び副会長の互選について >

（司会：山本地域課長補佐）

まず議事の（1）会長及び副会長の互選について、新潟市区自治協議会条例第6条の規定に、「区自治協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」という規定がございます。会長につきましてですが、会長候補としてどなたかご推薦がございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（加藤委員）

内野コミュニティ協議会の加藤でございます。私は1号委員の岩脇さんを会長候補としてご推薦申し上げたいと思います。岩脇委員は、前期の自治協で副会長を立派に務められました。小針コミ協、それから自治会の会長も務めておられるということでございます。経験豊富な方でいらっしゃいますので、ぜひ岩脇さんに西区自治協議会の会長として、手腕を発揮していただきたいと思いますので、岩脇委員を会長として推薦申し上げたいと思います。

（司会：山本地域課長補佐）

ありがとうございます。只今内野コミ協の加藤委員の方から、会長推薦の発言がございました。会長に小針コミュニティ協議会選出の岩脇委員という意見がございましたが、皆様、いかがでございましょうか。

— 異議なし —

(司会：山本地域課長補佐)

異議なしの声が上がりました。皆様、もしご意見がないようでしたら、恐れ入ります、ここで拍手をお願いできますでしょうか。

— 拍手 —

(司会：山本地域課長補佐)

ありがとうございます。それでは、会長は岩協委員ということでお願いしたいと思いません。

続きまして、副会長の互選ということで、会長が欠けた際などに、職務を代理していただく副会長になりますけれど、区自治協議会運営指針では、会長の指名も可能と規定されておりますが、岩協会長、いかがでございましょうか。

(岩協会長)

私は、第4期の副会長を2年務めさせていただきましたが、自治会、町内会及びコミュニティ協議会をはじめ、地域の諸団体の活性化が地域と行政の協働の要である自治協議会の活性化につながると資料に書いてありました。そのような意味合いから、副会長は第4期と同様にそれぞれの地域に精通、また課題解決の主体である地域コミ協選出の1号委員から、お二人の方をお願いしたいと考えております。私が第4期からの継続委員となりましたので、新しい視点からの運営を期待し、できるだけ副会長には、新しい委員の方をと考えております。つきましては、新任委員の中で唯一のコミ協会長で、多方面でご活躍をされております坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会の下川委員にお願いできればと思っております。もうお一方は、第4期から意見が出ておりましたが、女性の方をお願いいたしたく、コミ協の副会長を務めておられます立仏の渡辺委員にお願いできればと思います。皆様、いかがでしょうか。

— 異議なし —

(司会：山本地域課長補佐)

ありがとうございました。只今会長に選出されました岩協会長から、まずお一人目の委員といたしまして、坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会の下川委員。二人目の副会長といたしまして、立仏校区ふれあい協議会の渡辺委員をご推薦いただきまして、今ほど異議なしとの声が上がりましたが、改めまして皆様、ご異議がないようでしたら、拍手をお願いできますでしょうか。

— 拍手 —

(司会：山本地域課長補佐)

ありがとうございます。それでは副会長は下川委員と渡辺委員にお願いしたいと思えます。会長、副会長におかれましては、正面に席をご用意させていただいておりますので、こちらに移動をお願いできますでしょうか。

それでは今ほど選出いただきました会長、副会長から、一言ご挨拶をお願いしたいと思います。はじめに岩協会長からお願いいたします。

(岩協会長)

只今信認されました岩協と申します。座ったまま挨拶させていただきます。ご推薦、ご承認ありがとうございます。本会はそれぞれコミ協の代表である委員はじめ、公共的団体、学識経験者、そして公募委員の方々など、様々なお立場の方々から構成されている会議でございます。できるだけ34名の委員の皆さん全員からご意見、またアイディアを出していただけるよう、会長として会の運営、進行を一生懸命頑張りたいと思えますので、ご協力をお願いいたします。また先ほどのオリエンテーションでも説明があったように、西区自治協議会は部会が大変活発ですので前期以上に議論を深めていただく部会の決定や、提案などを尊重しながら、活動を進めていけるように努めたいと思えますので、併せてご協力をお願いいたします。これから2年間、よろしくをお願いいたします。

(司会：山本地域課長補佐)

ありがとうございました。一点だけ、すみません。確認が漏れていたのですが、これから副会長のお二人方からご挨拶をいただきますけれど、こちらの2名の副会長につきまし

では、会長が欠けた場合に職務を代理していただくということで、職務代理の順番を決める必要がございます。今ほど岩協会長からのご紹介では、初めに下川委員、次に渡辺委員とご推薦いただきましたが、会長職務代理の順序も下川委員、渡辺委員という順番でお願いをしたいと思います。よろしいでしょうか。会長もよろしかったでしょうか。

(岩協会長)

はい。

(司会：山本地域課長補佐)

それでは、当期副会長ということで、下川副会長からご挨拶お願いいたします。

(下川副会長)

皆さんとお会いするのは、今日初めてという方も多数でございますけれど、会長から推薦を受けましたので、2年間、一生懸命やっていきたいと思っております。いずれにしても、地域のことはよく分かるのですが、この会合については、岩協会長からいろいろご指導をいただきながら、皆さんと一緒に2年間やっていきたいと思っております。併せて地域課の高田課長、山本課長補佐、お二人からもいろいろ日頃ご指導をいただいているわけですが、今後ご指導よろしくお願ひしたいと思っております。どうぞ皆さん、よろしくお願ひいたします。

(司会：山本地域課長補佐)

続きまして、渡辺副会長からお願いします。

(渡辺副会長)

ごめんください。今ほど推薦いただきまして副会長になりました渡辺です。コミュニティ協議会は発足当時から加わらせていただいておりますが、今回西区自治協議会は初めての参加になります。分からないこと等、会長はじめ、皆さんにお聞きしながら、勉強させてもらいたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

(司会：山本地域課長補佐)

ありがとうございました。それでは新潟市区自治協議会条例の規定によりまして、ここからの議事進行につきましては、岩協会長にお願いをしたいと思います。岩協会長、よろしくお願ひいたします。

(岩協会長)

はい、分かりました。議事の進行に先立ち、会長として皆様方にお願ひごととご提案を申し上げたいと思います。お願ひ事は、ご発言の際にはお名前をおっしゃっていただきたいこと、また会議ではできるだけ多くの方々にご発言いただきたいと思っておりますので、各委員の発言は要点を簡潔にお話していただくようお願ひいたします。

それから私からの提案ですが、第4期の西区自治協議会では、正副会長と各部会の部会長からなる運営会議を立ち上げて、本会の議題の調整などを行ってまいりました。私としては第4期立ち上げ期と同様に会長、副会長、継続委員のうちから何名かにご協力いただき、世話人会として各部会が立ち上がるまでの間、運営会議に代わるものとして、本会の議題調整、進行などを行いたいと考えていますが、皆様方、いかがでしょうか。

— 異議なし —

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは世話人会に所属していただく委員でございますが、会長と副会長のほかに、経験豊富な継続委員の中でも、第4期の部会長、副部会長、委員推薦会議の座長を務めていた方にお願ひいたしたいのですが、笠原委員、大谷勇委員、大谷一男委員、宗村委員、広瀬委員、お願ひできますでしょうか。

ありがとうございます。それではこの会議終了後、世話人会に開催日についてご相談したいので、引き受けてくださった方々は会場にお残りください。

< 4 議事 (2) 部会の構成について >

(岩協会長)

続いて議題の(2)部会の構成についてでございます。事務局から説明をお願ひいたします。

(事務局：堀企画係長)

改めまして、地域課企画係長の堀でございます。先ほどのオリエンテーションでも少しお話をさせていただきましたが、この部会の構成については、今回会議及び5月の本会において、皆さんでご検討いただきまして、構成を決定していただきたいと思います。お配りいたしました資料2は第4期の部会の構成についてお示ししております。引き続きこの構成としていただいてもかまいませんし、変更いただいてもかまいません。ただスケジュール感といたしまして、今期における部会の立ち上げについては、5月までの自治協議会にて、構成について検討・決定いただいたのち、事務局から各委員宛てに部会の所属希望調査を行わせていただきたいと思います。いただきましたご意向をもとに、人数等の調整を行い遅くとも6月には第1回の部会を開催していただき、今後の部会での議論におけるリーダーになっていただく部会長、そして副部会長を決定していただきたいと思います。事務局からは以上となります。

(岩脇会長)

ありがとうございます。只今事務局から説明がありましたが、この部会の構成について、前期を通じて参加させていただいた経験を踏まえて、私も案を考えましたので、お話させていただきます。

まず通常部会は前期と同じ三つの部会でよいかと思います。部会で担当している分野が広いのではというご意見も前期に出ておりましたが、年間スケジュール等を立てながら各分野について議論するなど、まず工夫してみてもどうかと考えております。続いて特別部会でございます。広報紙の発行、アートフェスティバルの開催については、今年度の事業実施も決定しておりますので、継続していく必要があると考えております。区制のあり方、区役所整備に関する部会については、昨年1月に無事区役所整備が一段落したことから、昨年度は開催頻度が他の特別部会と比べて少なく、また区の制度につきましても、概ねそれぞれ通常部会で議論できるものと思われまます。部会での議論検討が活発な西区の状況から考えると、複数の部会設置により、少なからず委員の負担増につながっているところから、今期はいったん廃止とし、必要に応じて再度立ち上げてはどうかと考えております。

本日皆さんにこの案をご了承いただければ、所属の希望調査票を配付してもらい、その後、事務局から人数調整をしてもらいたいと思いますが、いかがでございましょうか。プロジェクトチームが3つあるのですけれど、3つあるうちの一つ、プロジェクトチーム1

は役割を終えたということで廃止したいということでございます。よろしいでしょうか。

— 異議なし —

(岩協会長)

ありがとうございました。では後日事務局から調査票の配付をお願いいたします。

ここで、少し会議を中断させていただきます。

(司会：山本地域課長補佐)

只今、先日の県議選で選出されました青木議員がお越しになられておりますので、時間の都合上恐れ入ります、お名前だけこちらでご紹介いただければと思います。

— 議員紹介 —

(岩協会長)

ありがとうございました。

度々すみません。もう一人議員の方が見えられましたので、事務局、ご紹介していただけますか。

(司会：山本地域課長補佐)

度々恐れ入ります。先ほどの青木県議に続きまして、大湊県議がお見えになりましたが、時間の都合上、恐れ入りますが、お名前だけの自己紹介をお願いできればと存じます。

— 議員紹介 —

(岩協会長)

ありがとうございました。

< 5 報告事項（1）平成 27 年度区教育ミーティングの開催について >

（岩協会長）

では、報告事項に入ります。平成 27 年度区教育ミーティングの開催について、教育総務課から説明をお願いします。

（橋谷田参事）

新潟市教育委員会教育総務課企画室の橋谷田と申します。よろしくお願ひいたします。本日は西区自治協議会の貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。私も教育総務課からは表題にありますとおり教育ミーティングの実施と併せまして、新潟市教育ビジョン第 3 期実施計画の概要をご説明させていただきます。

はじめに教育ミーティングの実施について、資料 3 をご覧ください。新潟市では昨年教育委員の担当区制を導入し、今年度から教育委員 2 名 1 組で 2 つの区を担当しております。各区を担当する教育委員はお配りした資料に記載のとおりです。西区につきましては、齋藤委員と伊藤委員、この 2 人が担当でございます。

区担当教育委員の活動といたしましては、区の実情や特性を把握し、市全体の教育政策に反映するため、この教育ミーティングを実施しております。本日は資料の左側になりますが、区教育ミーティングの開催について自治協議会の皆様にお願ひということでもまいりました。昨年度モデル実施ということで、自治協の皆様からアンケートをいただきましたが、それを踏まえて今年度は、以下のような内容を考えております。区教育ミーティングは年 2 回を予定しております。1 回目は大体 7 月から 9 月までの間、2 回目は 10 月から翌 1 月までの間の自治協議会の開催日に合わせまして、およそ 1 時間半程度で行いたいと考えております。

参加者につきましては、今年度新たに自治協委員になられた方もいらっしゃるということですので、1 回目については、自治協議会全体会で、2 回目は教育を担当する部会を中心に行いたいと考えております。会議のテーマにつきましては、自治協と区教育支援センターでこれから調整の上、決定させていただきたいと考えております。このテーマを設定するにあたりまして、本日お配りいたしましたアンケートでございますが、これに記入いただきまして、次回開催予定の 5 月 29 日までに西区教育支援センター、または次回の開催日にお持ちいただければありがたいと考えております。このアンケートについては、自由記載の欄がございますので、皆様が日ごろ感じておられる教育に関してのご質問、ご意見な

どを記入いただき、参考資料として、ミーティング開催までに事前に皆様にお配りしたいと考えております。

区教育ミーティングは、教育情報の発信を目的の一つとしておりますので、教育情報の冊子を本日お配りさせていただきました。これについても後ほどご覧いただきたいと思っております。なお、大変申し訳ございません。今ご紹介いたしました冊子の内容ですが、1ページ開いていただいて、目次がありますが、目次の番号と項目の番号、後ろ2つがずれておりまして、誠に申し訳ございません。6番、7番というのが目次でございますが、これが7番、8番と、少し数字がずれておりました。目次が正しいものですので訂正をお願いいたします。大変失礼をいたしました。

それでは第1回目の西区教育ミーティングの日程につきましては、自治協議会の会長様とご相談の上、決定をしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。なお、資料3の右側と2枚目については区担当教育員のもう一つの活動であります中学校区教育ミーティングの実施内容を記載しております。こちらは区担当教育委員が、中学校区単位で行っている取り組みです。自治協議会の皆様の中には、コミュニティ協議会の代表の方もいらっしゃるということですので、ご紹介させていただいたものです。

ミーティングの実施校については、本年度表のとおり予定してございます。開催の折にはご協力いただきますよう、併せてお願いいたします。教育ミーティングの概要については以上です。

続きまして、自治協議会の皆様から策定においてご協力いただきました新潟市教育ビジョン第3期実施計画がこの3月にできあがりしましたので、そのお礼を申し上げるとともに、概要の説明をさせていただきたいと思っております。リーフレットになっておりますので、そちらをご覧くださいければと思います。

はじめに、開いていただきますと、計画の概要が載っております。これは平成18年、政令市になる新潟市の教育の方向性とあり方を示すため、新潟市教育ビジョンの基本構想、基本計画を策定いたしました。その翌年、平成19年度には、それから3年間の前期実施計画、さらに平成22年からは5年間の後期実施計画を策定し、これまで小学校、中学校における教育、あるいは生涯学習全般などにおいて、教育ビジョンに基づく取り組みを進めてまいりました。昨年度平成26年度は、後期実施計画の最終年度であったことから、この度平成27年から31年までの5年間を計画期間とする第3期実施計画を策定いたしました。

右側の基本構想をご覧ください。教育委員会では学・社・民の融合による教育を掲げま

して、地域教育コーディネーターの活躍などによります成果を挙げまして、市民にも浸透しつつあります。これまでのこういった教育ビジョンの基本構想などについては、平成 27 年度以降についても、大きな変更を加えず、原則的に継続していくものと考えております。

さらに 4 ページを開いていただくと、今回の中身について触れてございます。今回の第 3 期実施計画の重点施策となる N E X T 5、N E W 5 の全体像を示しております。開いていただいた左側には、13 の基本施策と 54 の施策が載っております。緑色、紫色で網掛けした部分が今回の N E W 5、N E X T 5 の施策になります。それでは N E X T 5 についてでございますが、これまで実施してきた施策を継続の観点から見直して取り組むということで、5 項目が示されています。N E W 5、紫色の方ですが、N E W 5 については、新たな教育課題に対応するための施策になっております。

中身について簡単にご説明させていただきます。

まず N E X T 5 ですが、学・社・民の融合による教育、これは教育ビジョンの中核を成す施策でございます。特に地域と学校パートナーシップ事業では、平成 25 年に全小中学校など、地域教育コーディネーターの配置が完了していますが今後一層、本事業の市民への周知と啓発を図るとともに、質的な拡充を図っていきます。また確かな学力、豊かな心、健やかな身体をはぐくむ教育では、アクティブラーニングによる教育活動の推進やアフタースクール学習支援事業などを進めることで、学力の向上や豊かな心、健やかな身体の育成などに取り組んでまいります。

一方で N E W 5、紫色のものですが、N E W 5 では未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成ということで、小中一貫教育への取り組みを始めるほか、幼保小連携事業など、新潟市の幼児教育のあり方についても検討していきたいと考えております。また世界とともに生き、創造性を発揮する新潟の子どもでは、コミュニケーション能力の向上や I C T の活用など、今日的な課題についても取り組んでいくとともに、学校、公民館、図書館などと高等教育機関、企業、民間団体などとの連携にも取り組んでいき、教育支援体制づくりを推進していきます。共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システム、これはこれまで個性を伸ばす特別支援教育としておりましたが、これをさらに進めて共生社会の実現を目指すものでございます。ニーズと課題に対応できる教育行政では、昨年から実施している教育委員の担当区制など、教育委員会に関する制度改革について、さらに検討、修正を加えながら進め、新潟らしい教育改革を創造していきたいと考えています。

なお、表紙の裏側になるのですが、新潟らしい教育改革ということで、教育委員の

担当区制、教育ミーティングの開催、教育支援センターの設置の概要について掲載してございます。また教育ビジョン、本冊の方でございますが、これは区役所や出張所、連絡所、行政サービスコーナー、公民館、図書館などご覧いただけます。またパソコン環境が整っていらっしゃる方であれば、新潟市のホームページにもアップしてございますので、ぜひこちらもご覧いただければと思います。なお、この教育ビジョンについてご不明な点があれば、教育総務課企画室にお問い合わせいただきたいと思いますし、先に配付しました新潟市の教育、冊子になったものでございますが、これらについて何かご不明な点、ご質問等があれば、西区教育支援センターを通してお聞きいただければと思います。長くなりましたが、教育総務からは以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。一つ確認でございますが、よろしいでしょうか。スケジュール的なものですが、自治協では資料3にあります年2回ということですね。

(橋谷田参事)

その通りでございます。

(岩協会長)

もう一つ。各中学校区においては、去年は小針中学校でやったので、今年は西区においては坂井輪中学校、内野中学校、赤塚中学校、中野小屋中学校の4校でやるということですね。

(橋谷田参事)

はい。そのとおりでございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは委員の皆さんから何か質問等がありましたら、お願いしたいと思います。ございませんか。坂井委員。

(坂井委員)

公募委員の坂井です。初めてのことばかりだから、素人なので少し。アクティブラーニングによる教育活動の推進、言葉の意味が私分かりません。アグリ・スタディ・プログラムは何となく分かる気がするけれど。それからインクルーシブ教育システム構築、これも少し意味が分からないので、教えてください。

(橋谷田参事)

アクティブラーニングということで、言葉の説明でございますが、字が小さくて申し訳ございません。緑色の真ん中あたりに米印の2番ということで、アクティブラーニングについての説明がございます。教師が一方的に知識を教える学習ではなく、子ども自身が主体的、協働的に課題解決を図る学習ということで、一方的な講義のような授業体系ではなく、子どもが共に学んでいく授業づくりをしていくということでございます。

それからインクルーシブ教育、これは今まで特別支援教育ということで施策をしていたのですが、障がい者の方々を含めて、様々な方々と共生社会を築いていくということで、これまでの特別支援という枠を離れて、通常の学校、通常の学級においても広い意味での実験であったり、障がい者への理解であったりということを進めていく、また特別支援学校等に通われている生徒も、お住まいになっている地域であるとか、お住まいになっている学区の中で、共に学んでいくことをこれから進めていくということで、インクルーシブ、包含という意味でございますが、広く包んでいく、社会全体で育てていくということで考えてございます。

アグリ・スタディ・プログラムについては、同じように下にございますが、南区でアグリパークというものを昨年開始しまして、新潟市の特色であります農業体験を中心に学習の中に取り入れ、学力だけでなく豊かな心もそういう場で育んでいこうということで進めております。

(岩協会長)

三富委員。

(三富委員)

公募委員の三富です。同じような意見なのですが、ICTと書いてありますよね。タ

ブレット等ICTというのはどういう意味がよく分からないのですけれど、さっきの言葉は3つ解説してあるのですけれど、一つずつ解説しなくてはいけないというのは少し気になるのですが、いかがでしょうか。

(橋谷田参事)

ICTだけについて言えば、インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジーというものの略になります。昔IT、インフォメーション・テクノロジーと言っていたのですが、今はコミュニケーション、人間関係づくりということで、このようなことになっております。ご指摘いただきました言葉の問題でございますが、概要版の紙面が少なく、十分説明しきれていないという点についてはお詫びしなければなりません。先ほどご紹介いたしました、本冊のところには語句説明ということで全て載っておりますので、またご不明な点がございましたら、そちらもご参照いただければと思います。

(三富委員)

分かりましたが、これだけきれいになっているのですから、もっと分かりやすく、単純明解に、語句の説明は1、2、3とありますけれど、4も5もあってもいいのではないか、ということなのです。全部説明してくださいということではないのですが、書いてあればいいのですから、よろしくお願いします。

(岩脇会長)

貴重な意見ありがとうございました。ほかに。広瀬委員。

(広瀬委員)

公募委員の広瀬です。真ん中ほどの子どもの読書活動推進のところ、学校図書館の活用推進事業と書いてあるのですけれど、これは子どもたちが学校の図書館で読書をもっと活発にできるようにするという意味なのでしょうか。具体的なことを教えていただけますか。

(橋谷田参事)

学校図書館活用事業ということでございますが、ご指摘のとおり学校の図書館を活用で

きるということは当然でございますが、各区の図書館であるとか、そういうところと連携をいたしまして、図書館にないものについては公立図書館から持ってくるなど、いろいろなことがありますし、それぞれ学校の中で図書館をもっと活用してもらおうということで進めていくものでございます。

(広瀬委員)

では、例えば坂井輪図書館との連携という形はないのですね、今のところは。

(橋谷田参事)

はい。図書館の中で学校を支援する中核となる図書館が、学校図書館支援センターということで指定されてございますので、そこを中心として、図書館と学校の図書館とをつないでいくということでございます。

(広瀬委員)

ありがとうございます。

(岩協会長)

ほかに何かご質問。なければ、次第の最後に入りたいと思います。

< 6 その他 >

(岩協会長)

その他ですが、事務局から何かありますでしょうか。

(事務局：堀企画係長)

それでは何点かご説明させていただきます。まず次回会議の開催日程について、ご連絡させていただきます。お手元にお配りしました平成 27 年度第 2 回西区自治協議会等の開催日予定、こちらをご覧ください。日程につきましては、恐縮ですが、事務局で調整させていただきます、第 2 回は 5 月 29 日金曜日、午後 3 時から、会場は本日と同じくこちら、西区役所健康センター棟 1 階大会議室を予定してございます。会議の詳細につきましては、今ほど設置されました世話人会と調整させていただきます、皆様へご案内させていただきたいと存

じます。また6月以降の本会の開催日ですが、日程の目途として、年間を通して開催スケジュールを予め決定してしまうことがよろしいかと思えます。皆様がよろしければ、会長、副会長とご相談させていただきまして、年間スケジュールを決め、次回お示しさせていただきたいと思えますが、いかがでございましょうか。

— 異議なし —

(事務局：堀企画係長)

ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。

続きまして、お手元の資料、A4縦、西区自治協議会、提案事業・研修会等年間スケジュールをご覧ください。左側に昨年度の実績、右側に今年度の見込について記載させていただいております。4～6月につきましては、先ほど部会の立ち上げでご説明させていただいたとおりでございます。7～9月には、8区合同で行います自治協議会委員研修会のほか、自治協提案事業である高齢化をテーマとした講演会の開催、佐潟クリーンアップ運動「潟普請」への参加が予定されております。また並行して、平成28年度の特徴ある区づくり予算の審議が開始される予定でございます。10～12月、こちらは引き続き、特徴ある区づくり予算の審議、そして自治協提案事業として、防災をテーマとした講演会を公開事業形式で行うほか、第3回西区アートフェスティバルの開催などが予定されてございます。最後に1～3月、こちらにつきましては、自治協提案事業の事業評価を行っていただくほか、区独自の委員研修会の実施を予定してございます。なお、区独自の研修会につきましては、8区合同の研修会后、実施内容をご検討いただき実施することとなりますので、見込みとしましては、予算審議が落ち着いた年明けごろを予定してございますが、このスケジュールにこだわらず、日程につきましては再度ご相談させていただきたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

最後でございます。配付させていただきましたチラシをご覧ください。5月9日土曜日から計4回、区長との意見交換、区政トークを開催いたします。各地区の開催日程につきましては、お配りいたしましたチラシでご確認いただければと存じます。このほかの広報紙等につきましては、後ほどご覧いただければと思えます。

そしてお願い事項が一つございます。本日の会議終了後、自治協議会広報紙等に掲載させていただくため、委員皆様の集合写真をお撮りさせていただきたいと存じます。ぜひご

協力のほど、お願い申し上げます。後ほど会議終了後、担当よりご案内させていただきます。事務局からは以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。次回の開催については事務局で準備を進めてください。また6月以降のスケジュールについても、事務局で調整していただきたいと思います。最後に私からの提案でございます。これから皆さんと一緒にいろいろな形で議論をしていくわけですが、その前に事務局も含め、皆さん方と忌憚のないお話ができればと思っております。そこで次回、会議終了後に懇親会を開催したいと思うのですがいかがでしょうか。

— 異議なし —

(岩協会長)

せっかくの機会でございますので、私はいいかと思います。ありがとうございました。では事務局で準備を進めてください。場所は未定でございますので、調整をして皆さん方にご連絡したいと思います。それでは平成27年度第1回目の西区自治協議会を閉会いたします。ありがとうございました。